

投票率は81.02% (3.82ポイント減)

10月31日任期満了に伴う能登町議会議員選挙は、10月19日に告示され、24日執行されました。能登町として2回目の議会議員選挙では、定数が20人から18人となり、19人が立候補しました。投票は24の投票区で午前7時から午後7時まで（一部午後6時まで）行われ、即日開票が行われました。投票者数は14,800人、投票率は

81.02%で前回よりも3.82ポイント減少。また、期日前投票を行った人は4,382人（175人減）、不在者投票は242人（178人減）でした。開票作業は午後8時10分から能都庁舎4階ホールで行われ、町有線テレビでも生放送されました。午後11時にはすべての開票作業が終了。18人の当選人が確定しました。

皆さんの代表 18人の顔

新しい議員の任期は11月1日から4年間です。

※掲載は得票数順に右上から左下（敬称略）



奥成壯三郎
おくなり・そうさぶろう
(54歳)
無・現、業・化粧品販売業



酒元法子
さけもと・のりこ
(66歳)
無・現、会社役員



金七祐太郎
きんしち・ゆうたろう
(45歳)
無・新、会社役員



宮田勝三
みやた・かつぞう
(61歳)
無・現、会社役員



鶴野幸一郎
つるの・こういちろう
(66歳)
無・現、呉服商



國盛孝昭
くにもり・たかあき
(61歳)
無・新、農業



小路政敏
しょうじ・まさとし
(66歳)
無・元、農業



久田良平
ひさだ・りょうへい
(60歳)
無・現、会社役員



椿原安弘
つばきはら・やすひろ
(68歳)
無・現、農業



志幸松栄
しこう・しょうえい
(62歳)
無・現、漁業



河田信彰
かわた・のぶあき
(38歳)
無・現、会社役員



向峠茂人
むかいとうげ・たかと
(61歳)
無・現、会社員



市濱 等
いちはま・ひとし
(62歳)
無・元、会社役員



南 正晴
みなみ・まさはる
(49歳)
無・現、農業



大谷内義一
おおやち・ぎいち
(80歳)
無・現、農林業



新平悠紀夫
しんひら・ゆきお
(69歳)
無・現、会社役員



鍛冶谷眞一
かじや・しんいち
(62歳)
無・現、会社役員



山岸昭夫
やまぎし・あきお
(61歳)
無・元、農林業

能登町議会議員選挙投票者数と投票率

投票区	投票所	当日有権者数	投票者数	投票率 (%)
第1	能都社会福祉会館（能都庁舎）1階集会室	1,773	1,441	81.27
第2	宇出津小学校 1階ロビー	1,740	1,378	79.20
第3	ひばり保育所 遊戯室	896	741	82.70
第4	三波公民館 集会室	301	253	84.05
第5	矢波地区集会所	280	221	78.93
第6	神野公民館 ホール	582	490	84.19
第7	鶴川公民館 図書室	1,062	848	79.85
第8	瑞穂公民館 和室	701	513	73.18
第9	宮地生活改善センター 集会室	245	208	84.90
第10	柳田体育館	1,415	1,267	89.54
第11	小間生公民館 会議室	484	424	87.60
第12	上町地区生活改善センター 和室	806	661	82.01
第13	岩井戸公民館 会議室	226	188	83.19
第14	当目地区多目的研修集会センター	235	191	81.28
第15	斉和多目的集会所	205	185	90.24
第16	内浦福祉センター 1階集会場	1,926	1,530	79.44
第17	上区集会場	254	196	77.17
第18	不動寺公民館 集会室	516	440	85.27
第19	秋吉公民館 集会室	341	282	82.70
第20	白丸コミュニティ施設 多目的交流ホール	715	566	79.16
第21	能登勤労者プラザ 体育館	381	318	83.46
第22	小木地区活性化センター ロビー	1,940	1,479	76.24
第23	高倉保育所 遊戯室	1,042	815	78.21
第24	小浦地区集会所	202	165	81.68
合 計		18,268	14,800	81.02

【開票結果】

当 金七祐太郎	1,261票
当 酒元法子	1,014票
当 奥成壯三郎	986票
当 久田良平	886票
当 小路政敏	869票
当 國盛孝昭	857票
当 鶴野幸一郎	856票
当 宮田勝三	831票
当 市濱 等	780票
当 向峠茂人	732票
当 河田信彰	729票
当 志幸松栄	704票
当 椿原安弘	684票
当 山岸昭夫	674票
当 鍛冶谷眞一	660票
当 新平悠紀夫	645票
当 大谷内義一	609票
当 南 正晴	593票
次 久保田勝夫	298票
無効票	131票
持ち帰り・その他	1票
投票総数	14,800票

2011年7月24日 アナログテレビ放送終了に備える

～その①～

家電エコポイント制度を うまく利用しましょう！

テレビのデジタル化対策はもうお済みですか。これから、デジタルテレビを購入するという人は、11月いっぱいまでの購入がお得なようです。



家電エコポイントが半分以下に！？

政府は9月、薄型テレビやエアコン、冷蔵庫を購入すると商品券などに交換できる家電エコポイント制度の購入期限を2010年12月末から2011年3月末まで延期すること（1月以降は省エネ基準「五つ星」の商品に限定）を発表していました。ところが10月8日、今夏の猛暑の影響によるエアコンの売れ行きが伸びたことによる財源不足の理由などから、12月1日以降の購入分から家電エコポイントを約半分にすることを発表しました。

家電エコポイント制度（薄型テレビ）詳細

期 間	11月30日まで（2010年）	12月1日～31日（2010年）	1月1日～3月31日（2011年）
対 象	省エネ基準 ★★★★（四つ星）以上		省エネ基準 ★★★★★（五つ星）以上 かつ、買い換え商品のみ
エコ ポ イ ン ト	46V以上	36,000点	17,000点
	42V、40V	23,000点	11,000点
	37V	17,000点	8,000点
	32V、26V	12,000点	6,000点
	26V未満	7,000点	4,000点
	リサイクル	3,000点	

※10月下旬までの政府発表に基づき掲載。今後さらに基準が変更される可能性もあります。

アナログ衛星放送の終了について

能登町有線テレビ放送では、放送のデジタル化にともない2011年3月ですべてのアナログ衛星放送を終了します。

- 柳田地区は、県内ローカル放送を除き、ホームターミナルを介した衛星多チャンネル放送が終了となり、来年4月以降の使用料が1,000円程度となります。
- 能都・内浦地区はNHK衛星第1放送、第2放送などが終了します。

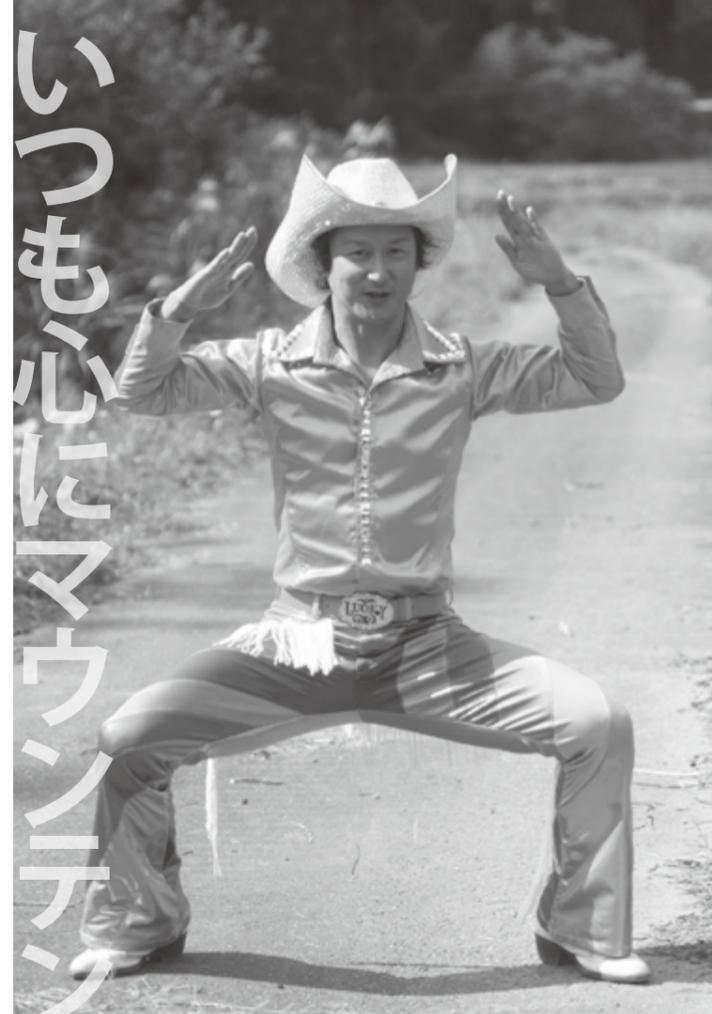
※引き続き、衛星放送をデジタルで視聴するにはパラボラアンテナが必要になります。

広報12月号では、デジタル衛星放送についてお知らせします。

詳しくは… 広報情報推進課 ☎ 76-8301



パラボラアンテナ



人権教育界のエンターテイナー

登天ポールさん

どうてん

もういじめ合っている時代じゃない！。



金

色に輝くシャツと帽子にレインポーパンツというど派手な衣装で「マウンテン」の決

車で日本一周した『登天ポール』さん(35)だ。

神戸市出身。現在は父親の実家である柿生に住むポールさん。神戸の大学を卒業後、大好きな音楽とお笑いを融合させた新しいエンターテインメントを目指して芸能活動を行っていたという。

転機は2006年秋。当時いじめ問題が社会現象化し、いじめによる自殺という記事が連日のように報道されていた。

いじめられたことも、いじめることも経験してきたというポールさん。「エンターテインメントの力でいじめをなくすることができないか。エールだけでも送れるんじゃないか」と考えた。

それから6カ月間、土曜と日曜には渋谷宮下公園で路上ライブを実施した。「いじめ撲滅・自殺反対」のぼり旗を立て、自身が作詞作曲した若者への応援歌「マウンテンソング」を歌った。

最初は誰も立ち止まらなかった。「社会的問題のど真ん中すぎて、どう反応すればよいか分からない状態」だったという。続けていくうちに、一人が立ち止まり、二人が立ち止まり、半年後には人だかりができるようになっていた。そんな活動をラジオ局が取り上げ、全国からメールが届くように。その中の一

通にポールさんは突き動かされた。

『いじめは渋谷だけではない』

一緒に活動していた演出家と相談し、日本一周を決意。ワゴン車を20万円で購入し、車で寝泊まりしながら、最初は北海道を目指した。新しい県に入ると若者が集まる場所を探して路上ライブ、そしてまた移動の繰り返し。疲労やお金の問題で途中何度も挫折しそうになりながら、212日目に47都道府県すべてのライブを達成し東京に戻った。

「悲惨なとき、つらいときこそ笑い合おう」。ポールさんの心を支える一つの思いは、19歳の時に体験した阪神淡路大震災にある。「助けたくても助けられない状況もありました。それでもみんながお互いに助け合って、笑い合って復興することができた。人間は助け合うべきがなければ生きていけないんです」。

全国行脚の経験は、ポールさんのメッセージをさらに力強いものにした。舞台は路上から全国の学校へとつながった。

今年5月から能登で暮らす。9月に穴水中学校で「もういじめ合っている時代じゃない」と題して講演。11月24日には能都中学校での講演も決まった。来年には、全国行脚の旅を書きたいいじめ撲滅本『君に生きてほしい』も出版を控える。

常に前向きで上を向いて歩くポールさんの言葉は、子どもたちへのエールとなり生きる力を与えてくれるだろう。合い言葉は「いつも心にマウンテン」だ。

第23回全国健康福祉祭いしかわ大会 ねんりんピック石川2010

平成22年10月9日(土)~12日(火)
光る汗! 輝くいしかわ 笑顔の輪



平成22年10月9日から12日の4日間、石川県内10市3町で、ふれあいと活力のある長寿社会の形成を目的とした第23回全国健康福祉祭いしかわ大会(ねんりんピック石川2010)が開催されました。

能登町はソフトテニス交流大会を開催。456人の選手団をお迎えして、心地よい秋空の中で爽やかな「ねんりんの輪」が広がりました。3日間に渡って開催した大会でしたが、大会運営に携わっていただいたスタッフの皆さん1人1人のおかげで、天候にも恵まれ無事成功に終えることができました。

本当にありがとうございました。

【参加人数】

監督会議：76人(選手監督67人、競技役員7人、実施本部2人)

開始式：649人(選手監督449人、関係者162人、その他38人)

歓迎交流会：180人(選手監督136人、関係者44人)

予選リーグ：1,852人(選手監督456人、関係者461人、一般観覧600人、健康づくり254人、その他81人)

決勝トーナメント：1,699人(選手監督456人、関係者461人、一般観覧600人、健康づくり182人)

表彰式：221人(選手監督27人、関係者194人)

延べ参加人数4,677人



晴天に恵まれ、すがすがしい青空の下で競技が進められました。



予選1位グループで決勝トーナメントを戦う石川県Aチーム。ナイスボレー!



地元の中学生や高校生が競技補助員として参加。コート整備や得点板などで大会をサポートしてくれました。



地元チーム(チーム能登)の大会成績は、予選リーグBブロック4位、決勝トーナメント第4位グループ3位入賞、たくさんの応援ありがとうございました。



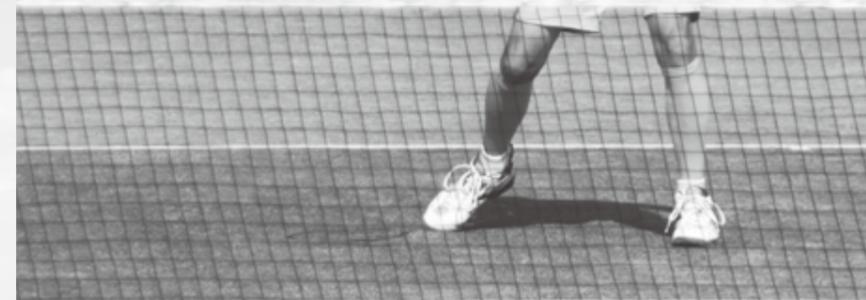
石川県西部緑地公園陸上競技場=金沢市=で開催された総合開会式のメインアトラクション。能登町は「中ノ又」のキリコを担ぎました。



開始式に先立ち、内浦第二体育館で開催された監督会議で説明する石川県ソフトテニス連盟の皆さん。



開始式のアトラクションで、懐かしい曲を中心に演奏した宇出津吹奏楽研究会の皆さん。参加選手団から異例のアンコールを浴びました。



チーム能登混合ダブルスに出場した笠原春雄さん(70歳)=宇出津=。地元応援団の声援を受けながら、年齢を感じさせない動きと力強いストロークで対戦相手を追い詰めていました。



力強い太鼓の演舞で視線をくぎ付けにした彌樂太鼓保存会の皆さん。



チーム集合所で待機する選手団。



選手団の入場。大きな拍手で迎えられるチーム能登(石川県D)。頑張れ!



大会期間中、無料で振る舞われた鍋。9日は能登の根菜汁、10日は能登のだんご汁でしたが、好評であつという間になりました。



ボランティアの笑顔が迎えた健康づくり教室。血圧測定や骨密度測定のほか、ハンドマッサージで選手の疲れを癒しました。



予選1位グループの優勝：ふじさんチーム(静岡県)、準優勝：彩の国(埼玉県)、3位：京都府ソフトテニス(京都府)、京都市(京都市)

スポーツマスターズ石川大会キャンペーン
能登町から始まる横断幕りレー

10月18日、石川国体20周年記念日本スポーツマスターズ2011石川大会横断幕りレーキャンペーン能登ルートスタート式が行われ、谷本県知事や持木町長らが参加しました。

スポーツマスターズとはシニア世代のスポーツ愛好者の中で、競技志向の高い人たちを対象としたスポーツの祭典です。石川大会開催まで1年をきり、横断幕りレーが能登町からスタートすることになりました。谷本知事から持木町長に手渡された横断幕は、12月7日まで宇出津港いやさか広場で掲示され、志賀町へとリレーされます。



大会の成功を祈願し色とりどりの風船が舞い上がりました

西尾支部長に合わせて祈願する能登杜氏の皆さん



松尾神社例大祭
魂を込めた酒造りのスタート

酒造りの神様をまつる松尾神社(松波)の例大祭が10月8日、松波神社で行われました。神社には能登杜氏組合能登町支部の組合員や関係者など約30人が集まり、今年の酒造りの成功と安全を祈願しました。

日本4大杜氏に数えられる能登杜氏は、秋から春にかけて県内や関西、東海地方など日本各地の酒蔵に出向き酒を造ります。支部長の西尾宏一さん(63歳)＝内浦長尾＝は「一人でも多く品評会に入選して明るい話題を提供できるように、元気に酒造りをしてほしい」と意気込みを話していました。

活性化策を発表し参加者の質問を受ける大学生ら



金沢星稜大学「第2回小木研究会」
小木地区の活性化に若い知恵

小木地区の活性化を住民と金沢星稜大学・吉川顕磨教授のゼミ生が共に考える「第2回小木研究会」は9月22日、小木地区活性化センターで開かれました。

33人の学生が5つのグループに分かれ、富山湾と九十九湾を一望できる展望台の設置や団体釣りツアー、イカの商品開発などのアイデアを発表。地域の祭りに注目したグループは祭りを紹介するブログや観光マップの必要性を訴えました。

吉川教授は「住民がこれから小木をどうするのかを継続的に考えていく必要がある」として研究会の組織化を促しました。

秋の林業・能登きのご祭り
秋の味覚にたくさんの人だかり

第6回林業まつり(能登森林組合)と第1回能登きのご祭り(実行委員会)の合同イベント「秋の林業・能登きのご祭り」は10月16、17日の両日、柳田植物公園で開催されました。

きのご祭り会場にはマツタケやコノミタケのほかにもシバタケやイッポンシメジなど能登の里山で採取されたキノコがずらりと並びました。マツタケの競り市では、お目当てのマツタケを手に入れようと参加者による真剣勝負が繰り広げられました。



▲品評会マツタケの部で石川県知事賞を受賞したマツタケ(中塚耕助さん出品)



◀競りにかけられるマツタケの大きさや状態を真剣な表情で確認する参加者

西村はなさん100歳
家族の祝福で迎えた100歳

10月18日に、恋路の西村はなさん(明治43年10月18日生まれ)が100歳の誕生日を迎え、持木町長が西村さん宅を訪れました。持木町長が「おめでとうございます。これからお元気で」と在宅長寿祝い金や花束を渡すと、西村さんは少し照れくさそうな笑顔を浮かべて受け取っていました。

自慢は「よく働き、よく食べる」と話す西村さん。100歳を迎えた今でも食欲旺盛で何でも食べ、仕事でもあり趣味でもある農業では、95歳まで家で食べる野菜をすべて自分で作っていたということです。



持木町長と記念撮影をする西村さん

柳田郵便局員に感謝状
外国為替の振り込め詐欺を防ぐ

9月28日、振り込め詐欺の被害を窓口で防いだ柳田郵便局員に、能登警察署から感謝状が贈呈されました。感謝状を受けたのは、柿木陽一さん(42)＝輪島市＝と二山昌代さん(40)＝五十里＝の二人。8月末に外国通貨スーダン・ポンドの購入を電話で持ちかけられた町内女性が、購入代金を振り込む寸前に不審に思って通報しました。寺西署長は「利潤の一部をアフリカの子どものための支援に役立てるといふ人の善意につけ込んだ詐欺。金融機関の皆さんには、これからも水際で被害を防ぐよう注意を払ってほしい」と話していました。



感謝状を受ける二山さん(右)と柿木さん

持木町長に報告する石井さんら



インドネシアでの10周年記念式典を報告
これからも漁業で友好な関係を

本年度で10周年を迎えたインドネシア人漁業研修生受け入れ事業を祝って、9月19日にインドネシアのジャカルタで記念式典が開催されました。9月27日には、町代表として式典に出席した石井勲雄さんらが役場能都庁舎を訪れました。式典の写真が掲載された報告書を持木町長に手渡し、インドネシア側の参加者と「これからも友好な関係を続けていきたいと思います」とお互いに話したことなどを報告しました。

11年目を迎える来年3月には、新たな研修生37人の受け入れを予定しています。